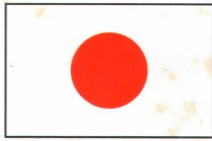


福井県日独友好親善協会会報 No.1



新年のごあいさつ



昨年2月13日、福井県日独友好親善協会が設立されて2年目の年を迎えました。設立半年後の10月29日には、福井県とハールブルク郡、ヴィンゼン市の2つの自治体が友好協定を締結し、これを機に、今後、両地域の友好関係を一層促進させると共に、教育・文化・スポーツなどの各分野で交流を続けていくことが確認されました。

国際青年の船事業がドイツを訪問して26年、これまで培われてきた交流の歴史に、新たな1ページが刻まれました。

私も1993年の青年の船の総団長として、ヴィンゼン市を訪問しているだけに、友好協定調印式に、栗田知事や70名の会員を中心とする県民の皆さんと再び訪問することができ、記念すべき調印の場に立会い、また、当時の懐かしい人達と再びお会いし、変わらぬお持て成しを受けたことは最高の感激でありました。

この調印を機に、今までより内容のある交流を促進したいと思います。その1つに今までは福井から非常に多くの青年が、ドイツを訪問していますが、反対にドイツからは、青年の来日は、色々な理由で極めて少数であります。

ぜひ、近い将来に少しでも多くのドイツ青年に福井に来ていただき、福井の青年と交流の場を作りたく思います。歓迎行事、ホームステイを通じて会員の皆様の絶大なご協力をお願いいたします。幸い会員の方は青年の船、婦人の船事業を通じて、実際にドイツを訪問している人達が多いだけに、ご理解いただけるものと確信します。

今年1年よろしく願いいたします。

平成12年1月1日

福井県日独友好親善協会会長 堀川 馨



将来の希望に満ちた友情の家

福井県がドイツ・ハールブルク郡およびヴィンゼン市と友好協定を締結！

平成11年10月29日に開催された福井県とハールブルク郡およびヴィンゼン市との友好協定調印式に出席し、ヴィンゼン独日協会との交流を深めるとともに、南ドイツを視察し、ドイツへの理解を深めることができました。ハールブルク郡のアーレンス郡長は、調印式で、友好協定を「これまでの友好関係の土台の上に築き上げられた将来の希望に満ちた友情の家」に例え、「その家を支える柱となるのは福井県日独友好親善協会とヴィンゼン独日協会でありましょう。」とあいさつしました。(下の写真はヴィンゼン独日協会との交流会での記念品贈呈の様子。ドイツ訪問の詳細については次ページ以降をご覧ください。)





TOPICS ドイツ訪問

- | | |
|---------------------------------|----|
| 10/28 福井発、ハンブルク着 | 日程 |
| 29 ヴィンゼン市訪問 友好協定調印式出席、ホームステイ | |
| 30 ヴィンゼン独日協会との交流会 | |
| 31 フッセン視察 | |
| 11/ 1 ミュンヘン、ローテンブルク視察 | |
| 2 ハイデルベルク視察 | |
| 3 フランクフルト視察、同地発 | |
| 4 福井着 | |

ホストファミリーとの対面、調印式

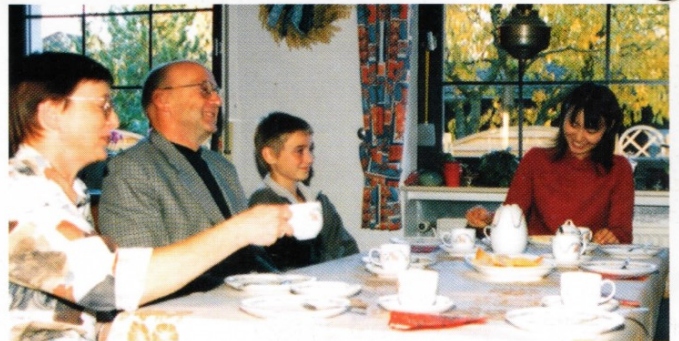
10月29日 ヴィンゼンに到着した団員をヴィンゼン独日協会のベッケドルフ会長他ホストファミリーの皆さんが暖かく出迎えてくれました。団員はそれぞれホストファミリーの自宅へと向かいました。午後7時半からは市民ホールで友好協定の調印式が盛大に開催され、栗田知事、アーレンス郡長、シュレーダー市長らが友好協定書に署名しました。ドイツ側からはフォークダンス、福井県側からは八田獅子舞、ハーブとフルートの演奏がそれぞれ披露され和やかなムードの中、式は11時まで続きました。



ホストファミリーとの対面



協定書を交換し握手する知事、郡長(左)、市長(右)



ホームステイ

ヴィンゼン独日協会との交流会

10月30日 午前10時からヴィンゼン市の市民ホールでヴィンゼン独日協会から35名の出席を得て開催しました。ベッケドルフ会長、栗田知事のあいさつの後、福井県側から獅子舞、ハーブとフルーツ、剣舞と詩吟、さくらさくらのコーラスが披露され、お茶、生け花、書道、和服の着付け、折り紙、こま回し、竹とんぼ飛ばしを通じて交流を深めました。昼食後、ヴィンゼン市を離れるときには、お互い最後まで別れを惜しまました。



着付



竹とんぼ



お茶

南ドイツ訪問

10月31日～11月3日 ドイツに対する見聞を深めるために、調印式、交流会を終えて晩秋の南ドイツを訪れました。フッセンはアルプスの麓にある町で、まるでおとぎの国から出てきたようなノイシュヴァンシュタイン城がそびえ王子様王女様になったような気分になります。ローテンブルクは城壁に囲まれた中世の町並みそのまま残り、タイムトンネルで中世にさまよい込んだような気持ちにさせる町です。ハイデルベルクは、古城とドイツ最大の大学があり、思索にふけりながら散策したくなる町です。ドイツの建物は総じて古く、日本でなら国宝級の年代ものの建物が今もりっぱに現役であることに驚かされます。



ノイシュヴァンシュタイン城をバックに記念撮影



ローテンブルク



ハイデルベルク

参加団員の感想 (50音順)

- 朝倉久美子さん：ホームステイを通してドイツの生活を知ることができ、とても良い思い出となりました。もう少しドイツ語ができれば、もっと知ることができたのと思っています。今でもEメールなどで、ホームステイ先の人々とドイツの新聞などを送ってもらったりして、少しずつドイツ語を勉強している最中です。
- 加藤禮一さん：7年振りのヴィンゼン、友との親交を深め得た事、懐かしく思う。
- 村真奈美さん：ドイツに新しい家族が増えたようで、外国が身近になりました。
- 櫻川美穂さん：ドイツの人の暖かさや素晴らしい文化にふれて、何だかたくましくなって帰って来た気がします。
- 酒生耀子さん：黄葉のドイツで友好の縁を深め、歴史の重さを見聞、感動を共有した意義は大きい(意義ある旅でした)。
- 須藤邦久さん：ドイツはタテマエとホンネが同じ国であると思いました。
- 高橋英一さん：「豊かな自分自身の時間を持つ」ということを学ぶ必要がある。
- 藤内三津子さん：素晴らしい旅でした。ゴテゴテした看板もなく、電柱もなく、自然と建物と人が見事に調和された美しいドイツ。そして何よりゴミ問題に真剣に取り組んでいて全てに過剰包装の日本は即見習ってほしいと思いました。
- 豊島弘さん：ホームステイでは初対面な私達なのに精神的にも、物質的にも最高の歓待を受けた。
- 西畑光弘さん：やさしさを 未来に遺す 思いやり ドイツの人の心に触れる
- 林主計さん：日独国旗五色の友好 紺碧の空新白鳥城 緑の牧場黄葉の樹々 赤い屋根旧大学街
- 福岡正孝さん：2度の大戦を経験したドイツの人達が、生活や街・環境を大切にする姿に感動しました。
- 三上英道さん：ヴィンゼンを含め、静かで美しく落ち着いた国でしたが、時に凶抜けた人物を輩出するのが魅力です。
- 森田勝子さん：ヴィンゼンへ 踏み固め来し 心みち 調印式は 開通の如
- 山崎良弘さん：美しいドイツ、環境問題、街並み等学ぶ事が多くあり、また優しい人柄にも触れ感動の連続
- 山本早智恵さん：あたり一面眩しいくらいの黄葉で、街全体がおとぎ話の絵本の様でとても感激しました。ドイツでは街全体をととても大切にしている、そのための法律も色々あるとか。きっと何年か後にまたこの地に立っても同じ風景に出会えるのでしょうか。いつか確かめてみたいです。

国際交流ジャンボリー・イン福井への出展

平成 11 年 10 月 23 日 (土)、24 日 (日)

福井県国際交流会館



会員 12 名がボランティアで企画から参加し、7 月から計 4 回にも及ぶ事前打ち合わせや準備を経て出展しました。展示ブースでは、会員のドイツ人との交流の様子やドイツの写真やパンフレットの展示、ドイツワインとドイツのお菓子の試飲試食を行いました。特に試飲試食は、来場者の方に大変ご好評いただきました。

ボランティアスタッフの皆さん (50 音順)

朝倉久美子さん、川畑勝也さん、酒生耀子さん、菌美津江さん、高島修次さん、出倉直美さん、豊嶋弘さん、西畑光広さん、福岡あつ子さん、三浦和彦さん、村田幸子さん、渡辺真信さん

ドイツ人の方との交流会

平成 11 年 6 月 26 日 (土)

福井県国際交流会館



福井大学で勉強しているドイツ人留学生 4 名と福井大学のドイツ人講師の方をゲストに迎え、会員約 30 名が参加して開催しました。留学生によるビデオを使ったふるさと紹介、ドイツに関する〇×クイズ、グループに分かれての懇談などで交流を深めました。懇談の中では、ドイツのワインやチーズ、お菓子を楽しみながら和やかな雰囲気の中、ドイツの教育制度や環境保全の取り組みなど様々な話題が話し合われました。



私の故郷

エクハルト・ヒツェルさん (Eckhard Hitzer) 福井大学工学部講師



ウォルフラッツハウゼンの市章

私は 2 年前から福井で働いています。妻と 2 人の男の子維座哉 (いざや) と世主亜 (よしゅあ) と共に足羽川の近く照手に住んでいます。さて南ドイツの Bayern (バイエルン) 地方にある私の故郷、Wolfratshausen (ウォルフラッツハウゼン) を紹介しましょう。ミュンヘンの南 30 キロ程の所です。千年の歴史があり、900 年前には Wolfratshausen 城が建立されましたが、残念ながら 1734 年に雷で城の火薬庫が炎上。その後ミュンヘンの王様がこの城の石でミュンヘンの新しい城を築きました。アルプスの 2 つの川、ロイサークとイサルが町を流れて、15 世紀からは筏 (いかだ) で物資が運ばれるようになりました。今も観光客が筏でミュンヘンへ行くことができます。ゲーテ (1786 年) やリルケ (1807 年の夏) もこの町を訪れました。現在、人口は 2 万人くらい。埼玉県の入間市が 1987 年から姉妹都市になっています。今もなお Wolfratshausen は昔のバイエルンの街並を大切に守っています。私は町の回りの風致地区の緑の中を散歩する事が大好きです。



ヒツェルさん (左端) とご家族
平成 10 年丸岡城にて

会報に名前を付けてください!

皆様に親しまれる会報にするため、会報の名称を募集します。応募いただく方はお名前と連絡先の電話番号を御記入の上、名称とその由来を事務局まで FAX または郵送でお送り下さい。いくつ御提案いただいても結構です。採用させていただいた方には、素敵なプレゼントをお送りします。

発行：福井県日独友好親善協会

〒910-8580 福井市大手 3 丁目 17-1

福井県県民生活部国際課内

TEL : 0776-20-0294

FAX : 0776-22-1702

平成 12 年 1 月発行

